

協働通信

今回は、親子や地域の方々がのんびりと安心して過ごすことができる居場所である「宝の山プレーパーク」に取り組む岩田絵里子さんにお話を伺いました。



◆盛里地域在住の岩田絵里子さん。
約2年前に県外から本市に移住され、平成27年1月頃から「宝の山プレーパーク」を始めました。3児の母でもあります。

◆「宝の山プレーパーク」について教えてください。

毎週水曜10時から14時まで、宝の山ふれあいの里・ネイチャーセンターにて開催しています。申込は不要で、小さい子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで多世代が集い、「やってみたいー」ということにチャレンジできる場です。お茶を飲んでゆっくりすることもできます。

◆どんな経緯で始めたのでしょうか。

平成26年12月に、「みんなで火をおこして食べ物焼いたりして遊ぼうー」と友人

▽都留市まちづくり
市民活動支援
センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり
交流センター
▽開館
火～日(祝日除)
8:30～17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.
tsuru.yamanashi.jp
☎(43)1321
FAX(43)1322

たち数名が集まったのが始まりなのですが、火をおこすはずが全員マッチやライターを忘れてしまい(笑)、虫めがねや火打石などを使い苦労して火をおこすことができました。やっとの思いで火を手に入れた喜びとワクワクした気持ちの中、「来週もやろう!」と集まりが続いていきました。平成27年1月から「宝の山プレーパーク」として活動を開始し、平成27年12月9日には50回目を迎え、延べ参加者数は500名を超えました。

◆「宝の山プレーパーク」の様子はいかがでしょうか。

森探検・砂遊び・泥んこ遊び・おにごっこ・火おこし・かまど料理・昔遊び・つるかご編みなど、好きなことをして過ごしています。色んな子どもたちが集まるのですが、自然と大きい子が小さい子の面倒をみたり、年配の方が本当のおじいちゃんのように子どもたちに遊びを教え、かわいがってくれたり。まさに多世代交流が行われていると思います。

また、ここでは大人も子どもも同じ目をして、やりたいことに一生懸命にチャレンジして、夢中で遊んでいます。そんな参加者の方々が、帰り際にすごくいい顔をして帰っていくのですが、それが一番のやりがいでもあります。



■お昼ご飯を皆で食べるだんらんの時間です。



■砂場で夢中になって遊んでいます。

◆今後について

「宝の山プレーパーク」の土日開催を希望する声をたくさんいただいています。そのためにはスタッフを充実させ、安定的な開催ができるようにしたいです。

また、子どもだけでなく、大人にもここで遊んでほしいですね。その人が気持ちよく楽しんで、自分らしくいられる居場所として「宝の山プレーパーク」を続けていきたいです。

◆地域の方々へのメッセージをお願いします。
「自分はこんなことがやりたいなあ」と感じたことは、小さなことでも一歩踏み出してやってみることをお勧めします。私も今の活動を始めようと一歩踏み出し、失敗もあるけれど学ぶことがたくさんあります。もちろん、「宝の山プレーパーク」に来ていただければ、気持ちが楽になり、次の一歩を踏み出す勇気がわくはずですよ。



■会場に掲げる宝の山プレーパークの旗は、お子さんたちとの手作り。「すきなことができるよ」という言葉が書き込まれ、目を引く素敵なデザインです。

※宝の山プレーパークの開催情報については「とちぎびコーナー」をご覧ください。

地域のお知らせ

谷村地域

夢実現ひろば「懐かしの映画会」

日時 2月25日(木)13時30分～15時30分

場所 まちづくり交流センター

3階多目的ルーム

題名 1949年イギリス作品

定員 「第三の男」

問合先 30名程度

市立図書館

☎(43)1324